

英語

◆大設問ごとの内容と結果◆

大設問	主な出題内容	設問数	配点	受検者平均点	受検者得点率(%)
問 1	リスニング	7	21	13.07	62.24
問 2	語彙（適語選択）	3	6	3.23	53.90
問 3	文法（適語選択）	4	12	6.61	55.08
問 4	文法（語順整序）	4	16	6.53	40.80
問 5	資料の内容をふまえた英作文	1	5	2.00	40.00
問 6	スピーチ文の読解	3	15	6.20	41.30
問 7	資料を含む文の読解	2	10	3.04	30.35
問 8	会話文の読解	3	15	6.10	40.63
		27	100	46.77	—

（「令和6年度神奈川県公立高等学校入学者選抜学力検査の結果」より作成）

（参考：合格者平均点47.0）

◆概要◆

選択肢の数が増えた問題が1題あったこと以外は昨年と同じ傾向でした。全体を通して語彙のレベルが上がりました。県の出題のねらいは「音声による英語を理解する力、語彙の知識を適切に活用する力、文構造や語法を理解する力、日常生活の場面に応じてふさわしい内容を考え表現する力、英文や資料から情報を正確に読み取る力、英文を論理的に構成する力、まとまりのある文章の概要や要点をとらえ内容を理解する力」を総合的にみることにしています。読解問題の総語数は1817語[1871語]（以下〔 〕内は昨年度）で、昨年度とほぼ同じでした。速読力・精読力・思考力をしっかり訓練することは必須です。

◆大設問ごとの出題傾向と難度◆

問1：(ウ)No. 2では、放送内容の要点を捉えてふさわしい一文を選択する問題から、Questionに対する答えの文を選ぶ問題に変更されました。

問2：昨年同様の適語選択問題でした。語彙のレベルは高難度のものが多く、教科書で扱われている英文の中で使い方を習得する必要があります。

問3：(エ)は、複数の意味を持つ前置詞の知識が求められ、高難度の問題でした。

問4：対話の場面をイメージし、文脈にふさわしい英文を組み立てる問題です。(ウ)は、後置修飾の関係を理解し、主語・動詞の関係を正しくつかむ構文力が必要とされました。(エ)は、不定詞構文の知識に加え、接続詞 Though の働きと空所の後ろにつながる some of them の使い方を正しく理解していないと正答にならない問題です。文法事項を自分の言葉で説明できるようになっていることが望まれます。

問5：今年も3枚の絵から場面にふさわしい表現を考えて英文を書く問題が出題されました。条件の語数が3語から2語に減りました。相手の返答から、質問内容を正しくイメージする力が必要です。現在完了の知識の活用が求められました。

問6：スピーチのテーマは「水害とその対応策」で、総語数は543語[597語]でした。(ア)は、本文中の2つの資料から読み取れる内容を選ぶ問題ですが、1文の長さが長い選択肢を正しく読み取る必要があり、難度の高い問題でした。

問7：英文と資料を照合する問題で、総語数は614語[604語]でした。作業を通して課題を解決する力が求められました。(イ)内容を読み取って要約する問題は、言い換え表現を読み取る幅広い語彙力が必要とされました。

問8：対話文の読解問題で、総語数は660語[670語]でした。発言主と発言内容を整理して読み取る論理的思考力が求められる難問でした。(ウ)主語と動詞が複数組み合わせられた構文を正確に理解し、言い換え表現を正しく読み取り、本文の内容と照らし合わせる力が必要とされました。